

公安委員会定例会議(第14回)の開催状況

第1 日 時 令和元年6月5日(水)

午後2時5分 ～ 午後3時50分

第2 出席者 渡部委員長、増田委員、曾我部委員

本部長、総務室長、警務部長、首席監察官

生活安全部長、刑事部長、交通部長、警備部長

警察学校長、情報通信部長、総務課長

第3 議事の概要

1 委員長説示

私が小学2年生を担当していた頃、生活科で「自分が成長したことに気づき、それを支えてくれた人たちへの感謝の気持ちを持つ」という趣旨の授業をしました。その時、子ども達と一緒に自分が生まれたときの体重と同じ重さの砂を入れた赤ちゃんの人形を作りました。その赤ちゃんを抱いた子ども達は目を輝かせて、自分の小さい頃の服を着せたり、おもちゃで遊んであげたりしていました。遊びを通じて、いかに自分が大切に育てられてきたかを感じているようでした。

参観日には親にも赤ちゃんを抱いてもらい、一緒に赤ちゃんの誕生日を祝いました。ある保護者が「これは、幸せの重みです。」といった言葉がとても印象的でした。自分達が生まれた時、周りの人たちの喜びや大切にされた命に気付くことによって、子ども達に自尊感情が高まります。また友達と体験を共有することで、自分の命だけでなく、他人の命も大切なんだなということを感じてくれたように思います。

最近、命の大切さを改めて考えさせられる事件が発生しています。学校側も子ども達に命を大切に作る人間を育成したいと、いろいろな方法で取り組んでいます。県警察には、県民からの安全と安心の実現、温かい世の中であってほしいとの願いや期待に応えられるよう、より一層努力していただきたいと思っています。

2 決裁事項

(1) 公安委員会定例会議の会議録について

総務室から、令和元年第13回公安委員会定例会議の会議録について伺

いがあり了承した。

(2) 犯罪被害者等給付金支給裁定について

警務部から、犯罪被害者等給付金の支給等による犯罪被害者等の支援に関する法律にかかる給付金支給裁定について伺いがあり了承した。

3 報告事項

(1) 愛媛県議会の開催について

総務室長から、愛媛県議会（6月定例県議会）の開催予定について報告があった。

(2) 愛媛県警察音楽隊の活動について

総務室長から、「三間ふれ愛コンサート」の開催予定について報告があった。

(3) 全国公安委員会連絡会議の開催予定について

総務室長から、全国公安委員会連絡会議（代表者会議）の開催予定について報告があった。

(4) 事務職員等試験の申込状況について

警務部長から、令和元年度愛媛県警察事務職員（上級）等試験の申込状況について報告があった。

委員から

◇ 引き続き優秀な人材確保に努めていただきたい。

との発言があった。

(5) 長官監察の受監結果等について

首席監察官から、平成30年度第4四半期における長官監察の受監結果及び本県における随時監察実施結果について報告があった。

(6) 損害賠償事案の知事専決処分について

首席監察官から、損害賠償事案の知事専決処分について報告があった。

(7) サイバーセキュリティ対策の推進状況について

生活安全部長から、サイバーセキュリティ対策の推進状況について報告があった。

(8) 禁止命令の実施について

生活安全部から、ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく禁止命令及び実施状況について報告があった。

(9) 特殊詐欺事件等の検挙について

刑事部から、特殊詐欺事件等の検挙と突き上げ捜査の推進について報告があった。

(10) 詐欺事件の検挙について

刑事部から、拾得物にかかる詐欺事件の検挙について報告があった。

4 その他

委員から、「川崎で起きた殺傷事件では、引きこもりの問題が取り上げられている。内閣府の昨年の調査では、40歳から64歳の中高年の引きこもりは全国で推定約61万人とされ、その内男性は76%以上ということだ。必ずしもこれが原因とは言えないが、人との接点がなくなり、考え方も極端になり暴力へと向かうのだろうか。家庭でもスマホ等でインターネットを活用する時間が多くなり、家族との会話も少なくなって、人との時間の共有が希薄となり、人間関係を構築することが難しくなっていると感じる。家族や人との関係を大切にして、家庭や社会から孤立する人が出ないように、人とのつながりを大切にするのを忘れないよう行動しなければならない。」との発言があった。

以上